

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 5 月 10 日作成)

委員会名	西洋建築史小委員会	主 査 名：日高健一郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：陣内秀信
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	西洋建築史の研究	
委員構成 (委員名(所属))	河辺 聡 神戸女子短期大学総合生活学科 鈴木 博之 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 吉田 綱市 横浜国立大学大学院工学研究院社会空間システム学専攻建築学コース 陣内 秀信 法政大学工学部建築学科 星 和彦 前橋工科大学工学部建築学科 羽生 修二 東海大学第二工学部建設工学科 白井 秀和 福井大学工学部建築建設工学科 丸山 純 千葉大学自然科学研究科 杉本 俊多 広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻 伊藤 大介 北海道東海大学国際文化学部 伊藤 重剛 熊本大学環境システム工学科 日高 健一郎 筑波大学芸術学系 土居 義岳 九州大学環境設計学科	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	230,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	平成 14 年には科学研究費補助金「特定領域研究」の獲得を目指して活発に活動したが残念ながら採択されず、15 年はその再申請を目指し、基本的なことから今後の取り組みについて再度持ち回りで議論を行ったが、正式の委員会を開催するには至らなかった。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) わが国における西洋建築史研究の状況を把握し、今日における西洋建築史研究の意義を再認識した。そうした認識を踏まえて、平成 14 年には、西洋建築史研究の飛躍的な展開を図って科学研究費補助金「特定領域研究」に申請したが、採択されず、平成 15 年度は意気消沈して、ややその反省にのみ終始した感がある。しかし、その申請書に盛られた、国際的な「建築文化資源学」構築に資するための西洋建築史研究という理念は、画期的なものとして自負している。この成果をもとに再始動を始める予定である。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 平成 14 年度に力を出しつくし、15 年度はやや中だるみの感がなきにしもあらずだが、持ち回りの議論によって、目標は十分達成できたと考えている。
その他評価すべき事項	